

皆様おはようございます。朝晩がだいぶ涼しくなってきました。

「暑さ寒さも彼岸まで」とは言いますが、あと10日もすればその時期にあたります。

暑いのも大変でしたが、これから徐々に短い秋の季節を挟んであの寒くて長い季節が到来します。どうぞ皆様ご自愛ください。ご高齢の方々、病気の中におられる方々のため、特に祈りしてまいりましょう。

さて先週からヤコブ書に入っておりますが、離散して迫害の苦勞をしている教会にある人々に対して記された主の弟ヤコブの手紙を読み進めております。

先週は、このような言葉がありました、

2 わたしの兄弟たちよ。あなたがたが、いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいことと思いなさい。

3 あなたがたの知っているとおりに、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

4 だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。

試練の意味について書かれていました。

いろいろな試練に会った場合、それをむしろ非常に喜ばしいこととは思いますが、これは信仰の訓練であり、そこには忍耐が生み出され、そうすれば、その試練の中で培われた忍耐力を働かせれば、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるから、その成長をもたらす試練は、むしろ非常に喜びと理解することが出来るというものでした。

これはもちろん主なる神様のご計画の内であればこそその出来事です。

試練と言いましたら、テストという意味もありますが、ルカ22勝のあの御言葉が思い出されます。

ルカ 22:31 シモン、シモン、見よ、サタンはあなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って許された。

22:32 しかし、わたしはあなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈った。それで、あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい」。

「麦のようにふるいにかける」。これは身の入った麦の殻と、もみ殻のみの殻を分ける農作業を意味しています。もみ殻は火にくべられます。

ルカ 3:16 そこでヨハネはみんなの者にむかって言った、「わたしは水でおまへたちにバプテスマを授けるが、わたしよりも力のあるかたが、おいでになる。わたしには、そのくつのひもを解く値うちもない。このかたは、聖霊と火とによっておまへたちにバプテスマをお授

けになるであろう。

3:17 また、箕を手に持って、打ち場の麦をふるい分け、麦は倉に納め、からは消えない火で焼き捨てるであろう」。

こういう過酷なイメージの伴う、「試練、試される、テストされる」という出来事ですが、神様は私たちが贖い、罪びとを義なる人とし、無価値となり、火にくべられるしかない籾殻のようになってしまった者を価値ある者とし、困難の中にあっても、信仰に踏みとどまり、決して私たちは見捨てられず、その苦しみには値高き意味があり、信仰が試されることによって忍耐が生み出されると言われました。

忍耐力というものは、スポーツにせよ、勉強にせよ、なんにせよ苦しいことをやり続ける時に培われるもののようにも思いますが、苦勞して成し遂げたところによってスポーツや勉学での成果があったら、主を信じ待ち望むことによってなされる信仰によって得られる忍耐、主への信頼に裏打ちされた忍耐というものは、私たちが生きていくうえで、どのようなことにも応用できる、この上なく価値あるものということが出来るでしょう。

3 あなたがたの知っているとおりに、信仰がためされることによって、忍耐が生み出されるからである。

4 だから、なんら欠点のない、完全な、でき上がった人となるように、その忍耐力を十分に働かせるがよい。

5 あなたがたのうち、知恵に不足している者があれば、その人は、とがめもせずに惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めるがよい。そうすれば、与えられるであろう。

6 ただ、疑わないで、信仰をもって願い求めなさい。

生きるための知恵というものも、必要不可欠です。しかし私たちはどこに知恵を求めましょうか。私たちの人生経験に私たちの知恵の土台をおくでしょうか。処世術という言葉がありますが、世の中の経験豊富な人から、知識の豊富な人から、裕福な人から、運のいい人から知恵を求めましょうか。しかし私たちは喜んで惜しむことなくお与えくださる神様に知恵を求めます。神様は与えて下さる、そういうお方だ、この方に信頼して教を乞うことが知恵の道であると信じて進みます。そういう中で、試練もまた駅であるということが聖書には記してありました。

12 試練を耐え忍ぶ人は、さいわいである。それを忍びとおしたなら、神を愛する者たちに約束されたいのちの冠を受けるであろう。

試練を通して神様は、私たちに生きるための知恵を与え、忍耐力を与え、そして忍び通すならば、神様は私たちに約束された、いのちの冠を下さいます。

1 コリント9章にはこう書いてあります。

9:24 あなたがたは知らないのか。競技場で走る者は、みな走りはするが、賞を得る者はひとりだけである。あなたがたも、賞を得るように走りなさい。

9:25 しかし、すべて競技をする者は、何ごとにも節制をする。彼らは朽ちる冠を得るためにそうするが、わたしたちは朽ちない冠を得るためにそうするのである。

9:26 そこで、わたしは目標のはっきりしないような走り方をせず、空を打つような拳闘はしない。

9:27 すなわち、自分のからだを打ちたたいて服従させるのである。そうしないと、ほかの人に宣べ伝えておきながら、自分は失格者になるかも知れない。

また、黙示録2章にもこうあります。

2:10 あなたの受けようとする苦しみを恐れてはならない。見よ、悪魔が、あなたがたのうちのある者をためすために、獄に入れようとしている。あなたがたは十日の間、苦難にあらうであらう。死に至るまで忠実であれ。そうすれば、いのちの冠を与えよう。

いのちの冠。冠と言えば、王様の戴冠の様子が思い浮かびますが、競技の賞としての冠もあります。冠は数あれど、苦難の後に天で与えられるいのちの冠に勝る慰めと栄誉はあるでしょうか。この朽ちない、いのちの冠が私たちのすべての信仰による忍耐に対する神様からの約束の賜物です。

13 だれでも誘惑に会う場合、「この誘惑は、神からきたものだ」と言ってはならない。神は悪の誘惑に陥るようなかたではなく、また自ら進んで人を誘惑することもなさない。

14 人が誘惑に陥るのは、それぞれ、欲に引かれ、さそわれるからである。

15 欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生み出す。

ここからは、試練の中、私たちの忍耐の歩みを立ち行かなくさせる、そういう類いの誘惑が記されます。神様は私たちの忍耐を養うために試練をお与えになられますが、ここではそれを信仰により、喜ばしいものと受け取ることが出来ず、神様によって苛まれていると感じ、神様に不満を抱いている人たちに対しての言葉が記されています。

神様は良きご意思をもって私たちに良き者を授けようとして、忍耐、知識、いのちの冠を用意して下さいますが、それに耐えきれない人は、「この誘惑は、神からきたものだ」、神

様は私たちのことをよく思わず、意地悪をしておられる、神様がおられるのならば、私たちはどうしてこのような試みに合わなければならないのかと、忍耐力を十分に用いないで捨て鉢になり、神様を信頼することをやめようとしてしまうのです。「神は悪の誘惑に陥るようなかたではなく、また自ら進んで人を誘惑することもなさらず、人が誘惑に陥るのは、それぞれ、欲に引かれ、さそわれるからである」。欲がはらんで罪を生み、罪が熟して死を生み出す、このように、聖書は平易に分かりやすく、私たちが神様の試練とは別に自分の欲望によって自分の道を欲望に駆られ、誘惑にさらされ、道に迷うことを述べています。

16 愛する兄弟たちよ。思い違いをしてはいけない。

17 あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。

しかし神様のもとにはあらゆる良い贈り物があります。完全な賜物があります。明日の事を思い煩うことなく、私たちの必要を知り、喜んで惜しみなく与えて下さる、良い贈り物と完全な賜物に満ちていらっしゃるお方を仰ぎ見たいと思います。その方から目を逸らし、自らのとめどない欲望の渦の中に入る時、私たちの前には試練が固く立ちはだかります。

しかし神様のもとにはあらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物があり、それらは、上から、光の父から下って来ます。

父なる神様には流行り廃れとか、移ろいとか、矛盾とか、その時々の変化がありません。いつも秩序があり、むらもなく、矛盾もなく、安定していて破綻がありません。しかし欲望のままに生きる者にはそれがありません。神様のもとには試練があり、忍耐を強えられることも多々あるかもしれません。それで心がしおれてしまったり、信仰を見失って神様に疑義を抱いてはなりません。ここで必要なのは忍耐です。信仰です。神様のもとにはあらゆる良い贈り物があります。完全な賜物があります。父那根神様には、見かけ倒しとか、欺きとか、詐欺とか、悪意とか、騙しとか、そういうものは一切ないのです。私たちが自分の知恵を総動員して、定かならぬ、居るかいなか分からぬ、神無き混沌の中我を張って一生懸命頑張るといった必要はないのです。

18 父は、わたしたちを、いわば被造物の初穂とするために、真理の言葉によって御旨のままに、生み出して下さったのである。

父なる神様はそういう信仰の中に安心して、子供のようになって、素直になって生きていくというご自分の民を造り上げ、私たちをその信仰の民の初穂とされました。私たちに続いて続いて、そのような父なる神様を信じて進む人たちの先鞭として、私たちを召してください

ました。私たちは神様の真理の言葉によって、神様のみ旨のままに、生み出していただきました。

罪が熟して死を生み出すのとは正反対に、真理の言葉によって御旨のままに、生み出していただいたのです。

私たちは試練の中、もがき祈る中、信仰の葛藤の中にあって忍耐力を養われ進む中、神様の御言葉の真実を味わってまいりました。そしてあらゆる良い贈り物と完全な賜物を惜しみなく与えて下さる神様のご真実を知り、そのみ旨に委ねています。この在り方の中にある継続けようではありませんか。自分で自分を救わなければならないという気負いを捨て、自分流の考え方を置いて、あらゆる良い贈り物と完全な賜物を持って導いて下さる、光の父、父には、変化とか回転の影とかいうものはない、このお方に全幅の信頼を置いて今週も進みたいのです。そんな私たちが信仰の初穂となって、先鞭となって、多くの方々のモデルとなり、救いと平安の先駆けとなり呼び水となれるように、主に祈り進もうではありませんか。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。神様、あなたには悪いお考えも意図もなく、悪い者に誘惑されることも欺かれることもなく、ただただ私たちに良き事を図り、私たちを守り抜いて下さり、日々導いて下さるお方ですから、本当にありがとうございます。どうぞあなたの聖き贖いとお導きの中、私たちが信仰と御言葉によって強め、今週もあなたの聖き僕としてこの世界のため用いて下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン